

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
1 学期	4月	3	【現代社会】 ・現代社会の特色 ・私たちの生活と文化 ・現代社会をとらえる枠組み	(1)情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p. 11「節の問いをまとめよう」について、p. 24「節の振り返り」の1節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】現代日本の社会の特色として情報化、グローバル化、少子高齢化がみられることを理解している。 【思】位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】節全体の見通しを立てながら、私たちが生きる現代社会の特色について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に追究し、自分たちの生活する地域や社会に関わろうとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	5月	3	【政治】 ・民主主義と日本国憲法	(1)小学校社会科の学習との円滑な接続を図り、法に基づく政治の大切さについて、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p. 41「節の問いをまとめよう」について、p. 70「節の振り返り」の1節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】立憲主義の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の三大原理、国民主権の意義と天皇の地位について理解し、その知識を身につけている。 【思】民主的な社会生活に関わるさまざまな事象から学習課題を見だし、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】節全体の見通しを立てながら、民主的な社会生活に関わるさまざまな事象をもとに、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。また、節の問いについて、節を振り返り、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	6月	3	・基本的人権の尊重	(1)基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解できるとともに、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (2)p. 63「節の問いをまとめよう」について、p. 70「節の振り返り」の2節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】基本的人権の保障について、個人の尊厳を基礎に、自由権、平等権、社会権などの権利が保障されていることを理解しているとともに、現実の社会にある差別や偏見について、さまざまな資料を調べ、まとめている。 【思】社会権が生まれてきた背景や新しい人権が広がってきた理由について、社会の変化や歴史的な経緯などから多面的・多角的に考察し表現している。 【主】節全体の見通しを立てながら、基本的人権の保障をめぐる、自由権、平等権、社会権など憲法で保障されている権利が、必ずしも守られていない状況に着目し、人権をめぐる諸課題について主体的に調べ、まとめようとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント）
	6月	2	・法の支配を支える仕組み	(1)日本では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解できる。 (2)p. 69「節の問いをまとめよう」について、p. 70「節の振り返り」の3節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】憲法が最高法規であることの意味、三権分立、違憲審査のしくみを理解し、憲法改正のしくみと課題について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。 【思】法の支配を実現し、権力の濫用を防ぐために、憲法保障としてどのようなしくみがつけられているのか、憲法保障のため国民はどのようなことができるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】18歳以上の国民は、憲法改正の国民投票を行うことができることに着目し、憲法の意義や憲法をめぐる課題について主体的に追究しようとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	7月	4	・民主政治と私たち	(1)個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解できる。 (2)p. 83「節の問いをまとめよう」について、p. 110「節の振り返り」の1節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】民主政治を発展させるために必要なことについて、法律と権力の関係、間接民主制のしくみや政党とマスメディアの役割、選挙制度のしくみを理解し、日本の政党や選挙制度の課題について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。 【思】公正な世論を形成し、民主政治を実現するために、国民一人ひとりが、メディアリテラシーを身につけることの必要性や、公正な選挙を行うためにどのようなしくみが求められるのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】節全体の見通しを立てながら、18歳以上に投票権があることを認識し、公正な選挙制度のあり方や日本の選挙制度の課題について主体的に調べ、追究しようとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	8月	1	・国の政治の仕組み	(1)国会を中心とする日本の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解できる。 (2)p. 97「節の問いをまとめよう」について、p. 110「節の振り返り」の2節の表に	○			【知】国会、内閣、裁判所の役割について、それぞれの機関のしくみと仕事の内容を理解するとともに、それぞれの機関の相互の関連性について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。 【思】国民主権を守るという観点から、国会、内閣、裁判所の果たすべき役割と、それぞれの機関が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。

2 学期	9 月	6		自分の考えをまとめることができる。				【主】 節全体の見通しを立てながら、国会、内閣、裁判所と私たちの生活との関わりに着目し、将来、裁判員に選任される可能性があることを踏まえ、裁判のあり方や裁判員制度のしくみについて主体的に考察し、追究しようとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	10 月	4	・ 地方政治と私たち	(1)地方自治の基本的な考え方について理解できる。 (2)地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。 (2)p. 107「節の問いをまとめよう」について、p. 110「節の振り返り」の3 節の表に自分の考えをまとめることができる。	○			【知】 地方公共団体の仕事としくみ、政治参加のしかたを理解し、地方財政の抱える課題についてさまざまな資料から読み取り、図表などにまとめている。 【思】 若者の投票率が低いという問題点を、地方自治が「民主主義の学校」とよばれることや、政治参加することの意義などから多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 節全体の見通しを立てながら、自分の住む地方公共団体について調べて関心をもち、自分たちが近い将来、選挙権をもつことを意識し、選挙権の行使や地方自治のしくみについて主体的に調べ、まとめようとしている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
		2	【国際社会】 ・ 国際社会の仕組み	(1)国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であり、持続可能な国際社会の実現のためにSDGsの達成が求められていることを理解できる。 (2)p. 191「節の問いをまとめよう」について、p. 210「節の振り返り」の1 節の表に自分の考えをまとめることができる。		○		【知】 国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解し、領土（領海、領空を含む）や国家主権の意味、国際連合のしくみと役割、SDGsの意義などについて、資料から適切に読み取っている。 【思】 SDGsの達成に向けて、どのような立場（主体）がどのように国際協調をしていくべきなのか、対立と合意、協調、持続可能性などの見方・考え方に着目して、多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 節全体を見通しながら、世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	11 月	2						
		4	・ 地域的課題とその解決	(1)紛争や核兵器の脅威、地球環境や資源・エネルギーの問題、格差や貧困の解消などの地球的課題に対して、その現状と背景を理解し、解決のために求められる国際協調のあり方について、SDGsとの関わりに着目して多面的・多角的に考察できる。 (2)p. 207「節の問いをまとめよう」について、p. 210「節の振り返り」の2 節の表に自分の考えをまとめることができる。	○		○	【知】 紛争や核兵器の脅威、地球環境や資源・エネルギーの問題、格差や貧困の解消などの地球的課題に対して、その現状と背景、解決に向けた現在の取り組みを、SDGsとの関わりに着目して理解している。 【思】 協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、地球的課題の解決のために、自分自身、日本政府、国際社会のそれぞれができることについて、今と将来という異なる視点で考察、構想し、表現している。 【主】 節全体の見通しを立てながら、地球的課題の解決に向けて、身近な生活との関わりと持続可能な社会のための支援策に着目し、主体的に社会に関わり、みずからの行動に生かそうとしている。また、「節の問い」の答えを自分なりにまとめている。（定期考査、小テスト、学習プリント等）
	12 月	3			○		○	
	1 月	3			○		○	
3 月			・ 課題探求と私たち	よりよい社会に向けて持続可能な社会を形成するという観点から、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、次の資	○			【知】 よりよい社会を築いていくために解決すべき課題と、その課題を探究するための方法について理解し、その知識を身につけているとともに、持続可能な社会を形成していくために解

3 学期	2 月	4	員・能力を身につけるようにする。 (1)私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述できる。 (2)私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	○		○	びすへき課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思】社会的な見方・考え方を働かせ、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。 【主】よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。（定期考査、課題、学習プリント等）
	3 月						
